

あいらニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



第27号 令和6年1月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 前田昇一



あけましておめでとうございます



年頭のご挨拶

会長 前田 昇一

西始良校区の皆さま、新年あけましておめでとうございます。今年も向こう三軒両隣・気配り助け合いのキャッチフレーズを合言葉に、笑顔で暮らせる安心安全な地域づくりと青少年の健全な育成活動や環境美化活動、また高齢者の見守り活動も引き続き継続して参ります。

生き生きとした地域づくりと更なる活性化を図るため、役員一丸となって活動を進めて参りますので、校区コミュニティ活動へのご支援とご協力を宜しくお願いします。

今年も向こう三軒両隣・気配り助け合いのキャッチフレーズを合言葉に、笑顔で暮らせる安心安全な地域づくりと青少年の健全な育成活動や環境美化活動、また高齢者の見守り活動も引き続き継続して参ります。

その中で、四年ぶりの始良ニュータウン夏祭りや文化祭は開催できず、少し残念な心残りの年でもございました。

二〇二四年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

昨年コロナ禍の中、西始良校区コミュニティ事業に多大なるご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。春先から新型コロナウイルスの猛威の中、感染対策強化のもと事業計画通りに昨年は行事を進めることができました。

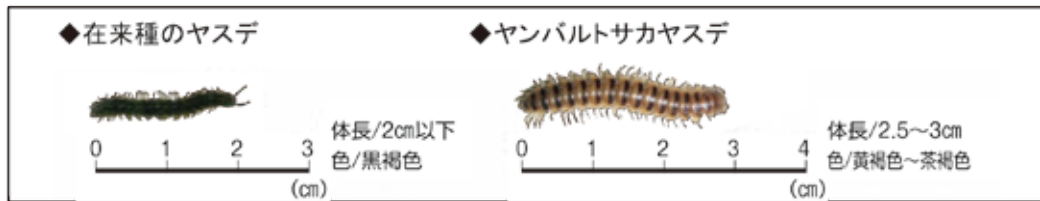
皆さま、新年あけましておめでとうございます。今年も皆様の温かいご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

(事務局長 濱田健二)

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止に御協力ください

ヤンバルトサカヤスデとは？

- ヤンバルトサカヤスデは台湾原産の外来生物です。鹿児島県では、奄美地域、南薩地域などを中心に発生しています。
- 農作物や人に害を及ぼすことはありませんが、繁殖力が強く、おびただしい数で集団移動したり、ブロック塀や壁をよじのぼったり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えるものです。



まん延防止対策

- ヤスデのまん延は、棲息地域からの樹木等の移植の際に土や堆肥などとともに、卵、幼体、成体が人為的に運ばれることがもっとも大きな原因であるといわれています。
- 棲息地域からの園芸樹木等の根付き植物の持ち出しは極力避けるようにしましょう。やむを得ず持ち出す場合には、株もと・根回りの土壌にジョロ等を用いて薬剤を十分に注ぎ込みましょう。
 - 鉢物についても、ジョロ等を用いて同じような処理をするか、また鉢全体を薬剤に浸すなどの処理をしましょう。
 - 宅配便を利用して、根付き植物を送る場合も、同様の処理を行いましょう。
 - 堆肥、敷わら、茅、芋づる等をやむを得ずヤスデの棲息地から搬出する場合は、1週間ほど土に埋めてから持ち出しましょう。また、土木工事に伴う土砂等の場合は、搬出現場で薬剤処理や燻蒸処理をしましょう。

編集後記

昨年はコロナが少し収まり、人と人との交流が回復してきました。コミュニティ協議会の会合や行事もコロナ禍以前に還りつつあります。穏やかな日々の繰り返しを改めて今年感じたものです。

持って回れる電話が出来たらなんと便利か！コンピュータで仕事が短時間で済めば！日本の中を一日で飛び回れたら！ひと昔の願望や憧れがほとんど実現になった今日。私は、私たちは、貴方は、あなたは、「幸せを実感」する毎日になったでしょうか？便利になったがゆえに、せかせかして追い立てられたような毎日。今年こそ、「ゆったり感」のある一年にしたいものです。

皆様、コミュニティ協議会事務局には、お茶やコーヒー・お菓子を準備してあります。どうぞお立ち寄りいただき、色々なお話を聴かせていただきたいと存じます。

今年も皆様の温かいご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

(事務局長 濱田健二)

令和五年の歩み

「一年は何日あるの」と言いたいほど、あつという間の三百六十五日が過ぎ去りました。コロナが収まったかと思うとインフルエンザの蔓延と、未だに日々のマスクは離されませんね。そういう中でも昨年は西始良コミュニティ協議会にとって、新たな前進の年でありました。その一コマを振り返ってみます。

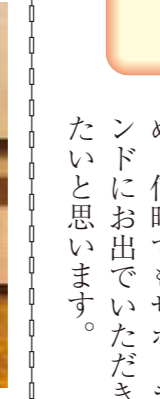
三月十九日(日) 歩こう走ろう大会

爽やかな青空の日曜日。十一名の幼児から八十代まで百八十名に参加していただき、賑やかに開催されました。様々なユニホームに身を包み、軽やかな足取りでそれぞれ選択した距離で気持ちよく歩いたり走ったり。皆さん「いい汗かいたね」の声が出ていました。健康維持のため、何時でもサポーターランドにお出でいただきたいと思えます。

五月二十八日(日) 避難訓練(講演)

西始良小学校体育館に百二十五名が集まり、鹿児島大学の井村先生の「災害からいかに自分の身を守る」を視点に、貴重なお話を聞いた。先生は、東日本大震災での人々が採った行動から、いつも「どうやって先ずは自分の命を守るのか？」のベスト判断での行動を起こす必要性を説かれた。

訓練も、実際に事が発生した時と同じ想定で実施することが大事、と話されました。

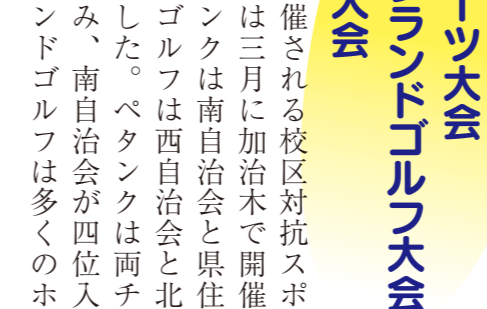


三月十二日(日)十九日(日) 校区対抗スポーツ大会

ペタンク・グラウンドゴルフ大会

ミニバレー大会

例年十一月に開催される校区対抗スポーツ大会が、昨年は三月に加治木で開催されました。ペタンクは南自治会と県住自治会、グラウンドゴルフは西自治会と北自治会が参加しました。ペタンクは両チーム共に決勝に進み、南自治会が四位入賞しました。グラウンドゴルフは多くのホールインワンが出ました。



ミニバレーは

西始良A(南自治会中心)と西始良B(東自治会中心)が参加し、圧倒的攻撃力で西始良Bが優勝しました。



七月二日(日) グラウンドゴルフ大会

天気心配された大会でしたが、参加した十二チームの熱気のおかげで雨に降られることなく、無事終了することが出来ました。大会は和気あいあいの中で熱戦が続き、ホールインワンも十八打数ありました。

団体優勝は西自治会Aチーム、個人優勝は東自治会Aの郷司山忠行さんでした。おめでとうございました。



七月二十九日(土) 始良ニュータウン夏祭り

四年ぶりの本格夏祭り。地域の盛り上がりも熱を帯びていました。重量級の「大人神輿」を中学・高校生も参加して担ぎ上げました。子ども神輿には幼稚園生も頑張りました。「蒲生郷てこ坊主」をスタートしたステージショーは十一の個人・団体の参加で盛り上がりました。様々な出店は人出の多さから、早々の売り切れが続きました。恒例の打ち上げ花火は、今年もとても綺麗でした。協賛金に協力いただいた個人・企業の皆様に、感謝感謝です。



九月三日(日) ソフトバレー・ペタンク大会

ソフトバレー四チーム、ペタンク十チームの参加で開催されました。ソフトバレーは事前の合同練習で力をつけ、熱戦が繰り広げられました。東自治会が優勝しました。ペタンクは好天候過ぎて熱中症対策を取り、五試合を三試合に縮小して行いました。暑い中でしたが、各チーム和気あいあいの中で熱戦が続きました。県住Bチームの優勝でした。



九月二十九日(金) 十五夜祭り

東南の方から上がる「スーパームーン」に歓声をあげながら、サポーターズ(旧称・おやじの会)の皆さんの全面的な協力の下、綱引きに汗を流しました。残念ながら、今年までは相撲はできませんでしたが、皆さんの来年の取り組みに期待を寄せています。



十二月十二日(日) 青少年意見発表会・文化祭

四年ぶりの青少年意見発表会と文化祭を、西始良小PTAバザーと連携して実施しました。三年もブランクがあると色々手間取ることも多かったのですが、子どもたちの意見発表の充実ぶり、文化祭出品作のすばらしさに、「開催してよかった」の声を沢山いただきました。舞台発表に対しての観客動員のばらつきに、課題を残した。

バザーも新しい取り組みがなされ、早々と品切れの店も出ました。一般住民のバザー参加も検討して頂くと、さらに内容が充実するのでは?との意見も複数ありました。来年も楽しみにしたいものです。

